

おせっかいの輪を広げよう

NPO法人ふらっとスペース金剛 代表理事 岡本聡子さん

岡本さんたちは、地域の人たちをお茶会に誘った。すると30組の親子が集まった。まず、その反響の大きさと、地域の子育て中の女性たちが感じていることと自分たちの思いが同じことに驚いた。「これは、地域の、そして社会の課題かもしれない」。この体験が地域の子育て支援を始める大きなきっかけとなった。

子どもわくわく体験隊と夏休み寺子屋も自分たちの困りごとから始まった。活動が広がるなか多忙となったスタッフは、家でひとり留守番をする自分の子どもが心配になった。また、子どもの居場所づくりや子育て支援は地域のニーズでもあるとわかった。岡本さんたちは、地元大学の学生食堂と一緒にカレーを食べながら、自分たちの活動に誘った学生たちに相談する。そして、子どもわくわく体験隊や夏休み寺子屋の活動は、大学生のサポートのもと、根づいていった。

できること登録は、「私なんて……」という言葉を生育て中の女性から聞くことがあり、何か応援できることはないだろうかという思いから始まった。「子どもを産んで家庭に入ってから社会とのつながりが切れたと感じたり、喪失感を感じたという話を何人も

の人から聞きました。ですから子育て中でも、私にはこれができるという得意分野を登録してもらい、それが活かせる場をあたりにしたかったのです。

ふらっとスペースのスタッフは、今もさりげないおせっかいの輪を広げている。



スタッフの廣崎さん親子と一緒に。右が岡本さん

て中の女性がこんなことを言っていました。近所のおっちゃんか「この子何歳？」と会うたびに聞いてくる。「本当に知りたいのか。興味があるのかな」と最初は不思議に感じたそうですが、ある時からおっちゃんの間わりが心地よく

居場所がある」「私はここにいていいのだ」と本人が実感できる。そんな地域を信頼関係から築いていくことが重要であると岡本さんは言う。

「子どもが泣いている時、冷やかな視線しか感じることができない」

「子どもが泣いている時、冷やかな視線しか感じることができない」

示・販売などにつなげている。名物講師となって地域を飛び回っている人もいるそうだ。本人のエンパワメントとともに、一人ひとりの住民の力が地域に還元されることで、地域が豊かになっていくのだ。

住民パワーで活動を展開

このように、ふらっとスペース金剛の取り組みには、多くの住民

が主体的に関わっている。市内4か所で実施しているほっとひろばには、年間延べ830人を超えるボランティアが参加している。子どもわくわく体験隊や夏休み寺子屋のリーダーは、地域の大学である大阪大谷大学、大阪芸術大学、大阪経済大学などの学生たちだ。岡本さんたちスタッフが大学に行き、「遊びに来てへんか」と誘うと、「おもしろそうだ」と学生た

ちが拠点に遊びに来たことから活動が始まった。そして、4つの拠点は地域の幅広い世代の住民の居場所でもある。「お茶でも飲みに来ませんか」。拠点の玄関先のボードに書かれたメッセージを見て、シニア世代の女性たちがふらっと立ち寄ること



ほっとひろばには常連の女性の姿も。「子どもも来たりります。予定がない日はひろばに行くと思っているみたいです」



子育て応援講座、女性のエンパワメントを応援する講座、住民の特技を活かした講座などを開催。住民の活躍により地域力が高まっている

もあった。園芸が趣味の男性は、「ここは花が少ないねえ」と言っ

ともある。一緒に子育てヘルパーは「少しの間、子どもをみていて」「ちょっと助けて」という母親のニーズから、2005年に始まった。お互いに助け合えないだろうかと、当初はお互いさまの助け合いをしてきたが、ぜひ、やろうという雰囲気までにはならず、またどこまで助け合いのできるのか判断が難しいという課題もあった。議論を重ねていくうちに、有償の助け合い活動でサポートすることになった。「困ったことがあれば『助けて』と言える。『できることあるよ』と受け止めてくれる人がいる。できることから、助け合える関係づくりをすすめていきたい」と岡本さんは言う。

子育て・子育てを地域住民が見守り、応援する

「安心して暮らしたい」。それは親子に限らず、誰もが求めている願いであり、「地域・社会に自分の

なった。「大きくなったなあ」という一言が、「見守っていてくれるんだ」という安心感につながったそうです。特別なことではなく、本当にちよつとしたことが大切なのだと思います。

現在、子育てひろば全国連絡協議会の理事を務める岡本さんは、各地で「おせっかいの輪を広げよう」と呼びかけている。

地域の子どもや親に、地域の多くの人たちが関わり、子育て・子育てを一緒に見守り、応援していく。やがて子どもが成長し、見守りとスペース金剛では、つながりや助け合いが循環し、誰もが安心して暮らせる地域づくりにつなげようとしている。

※地域子育て支援拠点事業。「ひろば型」は、常設のつどいの広場を設け、地域の子育て支援機能の充実を図る役割を担う。